

講演会

『都市交通分野の新たな挑戦』

～岐路に立つわが国の都市交通のこれから～

ご案内

公益社団法人日本交通計画協会は、歩行者・自転車からバス・LRTなどの中量輸送システムといった都市のモビリティや、歴みち、地区交通計画など街路のあり方に関する研究、事業化支援を行っており、都市計画・まちづくりの視点で「都市交通」のあり方を問い続けております。「都市交通」を取巻く近年の状況は、集約型都市構造の実現に向けて人々の移動のあり方が問われており、国土交通省都市局でもこのほど「都市交通施策の再整理に関する検討会」を立ち上げ、将来の都市交通体系の構築に資する都市交通施策の検討を進めております。

これらの状況を踏まえ、「コンパクトシティ政策」や都市交通の取組の重要性を研究してきた、弊協会谷口守代表理事からの「バイオミメティクスによる都市の生活習慣病対策」など今後の都市と交通のあり方に関する基調講演の他、学識経験者、国土交通省、都市交通分野において新たな挑戦に取り組んでいる地方公共団体、交通事業者をパネラーにお招きしたパネルディスカッションを企画・開催させていただきます。

岐路に立つわが国の都市交通のこれからを大局的に考える絶好の機会ですので、都市交通問題に取り組まれておられる皆様には是非ともご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時 2026年6月29日(月)

講演会:14:30~17:20

懇親会:18:00~20:00

場所 講演会:筑波大学東京キャンパス 1階 134講義室

懇親会:嘉ノ雅 茗溪館 2階 茗溪 MEIKEI 大ホール

(会場ご案内は裏面をご覧ください。)



基調講演：谷口 守

公益社団法人 日本交通計画協会 代表理事

工学博士。京都大学工学部助手、カリフォルニア大学客員研究員、岡山大学助教授・教授などを経て2009年より筑波大学教授。社会資本整備審議会都市計画・歴史的風土分科会会長などを歴任。2015年公益社団法人日本交通計画協会代表理事就任、現在に至る。

著書に「入門都市計画」「世界のコンパクトシティ」ほか。文部科学大臣賞(科学技術賞)、日本都市計画学会石川賞受賞。

講演会プログラム

14:30~14:35 開会挨拶

14:35~15:35 基調講演

講演者：公益社団法人 日本交通計画協会 代表理事 谷口 守

演 題：“都市交通のこれまでとこれから”

15:35~15:40 休憩

15:40~17:10 パネルディスカッション

進 行：谷口代表理事

登壇者：早稲田大学 理工学術院 社会環境工学科 教授 森本 章倫

(敬称略) 国土交通省 都市局 街路交通施設課長 筒井 祐治

岡山市 都市整備局 交通政策課 副主査 平田 晋一

広島電鉄株式会社 執行役員 地域共創本部長 末松 辰義

17:10~17:15 協会の活動・事業紹介

17:15~17:20 閉会挨拶

(終了後別会場にて 18:00~20:00 懇親会 ※お1人様 7,000円)

主催：公益社団法人 日本交通計画協会

